

## 平成30年度 第1回桐生市環境先進都市将来構想推進協議会 議事録

### 1. 日時

平成30年6月29日（金） 18：30～20：40

### 2. 場所

桐生市役所 6階 605会議室

### 3. 出席者

#### （1）出席委員（11人）

会 長：宝田 恭之〔群馬大学大学院理工学府 特任教授〕  
副 会 長：近藤 圭子〔きりゅう市民活動推進ネットワーク 代表〕  
委 員：西菌 大実〔群馬大学教育学部 教授〕  
根津紀久雄〔特定非営利活動法人北関東産官学研究会 会長〕  
初山 和久〔桐生商工会議所 副会頭〕  
大澤 豊〔桐生商店連盟協同組合 理事長〕  
今泉 芳雄〔桐生市家畜自衛防疫協議会 会長〕  
佐羽 宏之〔2015年からの生活交通をつくる会 会長〕  
坂本久美子〔桐生市女性人材リスト（農業委員・花き栽培）〕  
中野 久美〔桐生市女性人材リスト（建築設計）〕  
関口 寿明〔桐生瓦斯株式会社 総務部次長〕

#### 欠席委員（3人）

委 員：天谷 賢児〔群馬大学大学院理工学府 教授〕  
栗原 和人〔桐生広域森林組合 総括課長〕  
星野 宏之〔新田みどり農業協同組合 常務理事〕

#### （2）事務局（4人）

助川市民生活部長  
川島環境課長  
大木環境都市推進係長  
高橋主事

### 4. 議題

- （1）桐生市環境先進都市将来構想の進捗状況等について
- （2）桐生市環境先進都市将来構想推進における協議会の活動について
- （3）その他

## 5. 議事要旨等

### (1) 桐生市環境先進都市将来構想の進捗状況等について

- ①将来構想実施計画（平成29年度）の実績について
- ②将来構想実施計画（平成30年度）について
- ③10年間のロードマップにおける進捗状況の報告について
- ④委員の意見・提案等について

平成29年度実施計画の実績及び10年間のロードマップにおける進捗状況について説明

### (2) 桐生市環境先進都市将来構想推進における協議会の活動について

講演会の実施について説明

### (3) その他

- ぐんまクールシェアのお知らせ
- ライトダウンキャンペーンのお知らせ
- コンパクトシティの講演会のお知らせ
- 委員謝金について、謝金を7月下旬に支払う旨のお知らせ
- 次回会議を10月頃開催する旨のお知らせ

## 6. 委員意見（質疑応答抜粋）

### 【議題1】 桐生市環境先進都市将来構想の進捗状況等について

#### ○太陽光発電設備について

##### 【委員】

黒保根地域での太陽光パネル設置地域が増加傾向にある。施工箇所から雨が降ると泥水のようなものがでてきており不安である。

##### 【事務局】

民間のメガソーラー施設整備については、関係部署へ聞き取りを行ったが、法律上の規制については現在難しい状況である。近隣住民との合意が条件となるため、ある程度はおさえられている。工事の施工に際し、集水桝の設置条件があり、危険と思う場合には関係課への相談が必要である。

#### ○地域電力について

##### 【委員】

市民が中心となった地域電力施設整備の動きはあるのか。

##### 【事務局】

現在のところ話はない。全国の状況として、実施しているケースも見受けられるが、採算性が取れるか否かの判断が難しいと思われる。

#### ○小水力発電について

##### 【委員】

小水力発電の事業は、最終的な目標はどこにあるのか。

##### 【事務局】

小水力発電の研究は、北関東産官学研究会の事業として現在研究を行っている。桐生市は水が多い土地であるため、小水力を設置した地域電力としての利用を模索している。

研究としては、当初桐生産の発電機を開発し販売するのが目標であったが、設計したものを形にし、また、効率良く稼働させるところで時間を要している。現在当面の目標としては、メイドイン桐生として形がつけられるところまでが目標となる。

#### ○環境都市推進補助金について

##### 【委員】

省エネの物を推進していくことは良いと思う。チラシで節電をお願いするのも効果的であると思う。東京都は昨年LEDの補助を実施していた。省エネ補助金を推進することで、省エネ化を促進するためのきっかけづくりにはなると思う。

##### 【事務局】

LEDの購入補助については昨年度より環境課で実施している。目的としては環境意識高揚にある。市民への意識付けとしては、各団体のイベントに参加し、周知啓発をおこなっている。

### 【委員】

省エネ家電購入補助について、側面的な意見として、環境のために省エネ家電を最初から買いたいという意識は無いと思う。LEDは電気代が安くなるという意識しかない。

桐生市内での購入に限定されているため、デザインが選択できない等の弊害もある。結果として電球をとにかく買うだけになってしまい、環境問題への投げかけになっているのか疑問である。

### 【委員】

採算性の良いものに予算をかけるといった一点集中での事業展開が良いと思う。また、市民に誇りをもたせられるように仕掛けていく方が良い。

### 【事務局】

省エネの補助金については今後の方向性について検討していく。

一点集中した事業については、市の各部署各施策があるため、事務局の中で精査し、関係部署と先進都市将来構想の重点施策について検討していきたい。

### 【委員】

LEDに替えて電気代が安くなると、逆に節電意識がなくなる人が増えている。

節電はいままでと同じに考えてほしい。太陽光も昼間の電気は自由に使えるというイメージがあるが電気を大切にしたい。意識改革のコマーシャルが必要である。

### 【事務局】

補助金を利用した方に対し、補助金の交付決定通知を郵送で送る際に、省エネに向けた啓発のチラシを同封し啓発を図っている状況である。今後もより効果的な啓発方法を検討し実施していきたい。

## ○啓発活動について

### 【委員】

啓発活動について、各イベントへ参加しているが、市役所だけでなく市民や企業と一緒に出席してはどうか。意識の高揚に繋がると思う。また、ごみの減量作戦ポスターのように見える化をしてみると良いと思う。

### 【事務局】

ごみの減量化については環境課ごみ減量係・清掃センターが尽力し良い結果が出せている。先進都市においてもごみ減量と繋がった啓発活動を検討している。また、環境課ごみ減量係においては各イベントに参加し、ダンボールコンポスト等を用いたごみ減量活動を実施している。

### 【委員】

ごみの減量化は結果が見えるようになったのが良いと思う。また、ごみを減らすことにより市民がどれだけ得をしたかがわかればより良いと思う。

### 【委員】

桐生ガスでは、子供向け料理教室としてエコクッキングを実施している。内容としては、ゴミを一切出さずに料理をするものであり、受講した子供たちは大変驚いている。また、家庭内に戻って子供の目からごみ減量の情報を発信した方が影響力は大きいと思う。

〔議題2〕 桐生市環境先進都市将来構想推進における協議会の活動について  
○意見なし

— 以上 —